

## 62 支

緊急事態宣言が解除され、6月から段階的に学校を再開し、7月から本格再開となった令和2年度です。これまで



に誰も経験をしたことのない事態の中、まさに暗中模索で学校運営をしてまいりました。このことは新型コロナウイルス感染症への心配が通常レベルの感染症にまで低下することがない限り、変わらないことと思っています。令和3年になってもそしてその先も、一つ一つ「これでいいのか」と確認をしながら進めていく以外に方法が見あたりません。

しかしながら、個人的には悲観的なものの見方だけではありません。こんな時世ではありますが、すごく大きな頂き物をしました。例えば昨年度末の卒業式や今年度の入学式・運動会等、大きな行事に際しては、保護者や地域の皆様の本当に深いご理解と多大なご協力をいただきながらどうにか実施することができたというものです。こうした行事だけでなく、日々の新しい生活様式についても、ご理解ご協力をいただきながら、学校運営を重ねることができました。

今年の漢字は「密」に決まったそうですが、私個人としては「支」です。いえ誰が何と言おうと今年の漢字は「密」より「支」のほうが断然しっくりくると思っています。それは、地域や保護者の皆様の支えであり、本校スタッフの協力による支えであり、次に向かって頑張ろうとする子どもたちの姿が支えそのものであったりしたからです。こうした多くの支えは本校に限らず、社会全体の、数多くの場面で見られたのではないのでしょうか。(もう一度だけ言わせてください、「支」のほうがしっくりきます。)こうした支えに感謝しながら令和3年も進めてまいります。

大寒を過ぎ、ますます寒さが本格的となってきますが、どうか皆様、お身体に気を付けて、よいお年をお迎えください。